

学科	国際航空ビジネス科 エアラインコース		
教科	機内実習 (実務経験のある教員)	学年	1年
教科書			
参考書	エアラインオペレーション入門		
教 育 の 概 要			
教育目標	<p>客室乗務員として大きな役割である、「保安要員」「サービス要員」についてロールプレイを通して学んでいきます。 リーダーシップやおもてなしなど必要なスキルの習得を目標とします。 グラウンドスタッフに必要な空港の知識、チェックイン方法を実習</p>		
No	教 育 項 目		
1	保安業務		
2	安全性チェック		
3	緊急対策		
4	緊急着陸・着水前準備・緊急対策総合		
5	グラウンドスタッフの仕事		

1. 保安業務	
教育内容	理解基準
1. 通常のドア操作 a) ドアの仕組み b) 出発前のドア操作 c) 到着後のドア操作	・セクターレバーの操作によってスライドがどのように作動するかを理解できる ・出発前にドアの確認操作ができる ・到着前にドアの確認操作ができる
2. 緊急時のドア操作 a) 緊急時の定義 b) 緊急着陸時のドア操作 c) 緊急着水時のドア操作	不測の事態とはどのような状況か理解できる 外部とセクターレバーの確認ができる 外部とセクターレバーの確認ができる

2. 安全性チェック	
1. 安全性チェック a) 搭乗時の手荷物処理 b) 離陸前の安全性チェック c) 着陸前の安全性チェック	適切に処理する必要を学ぶ 安全性チェックの確認項目を漏れなく実施する 安全性チェックの確認項目を漏れなく実施する

3. 緊急対策	
1. 緊急対策火災 a) GALLEY火災発生時の処置 b) LAVATORY火災発生時の処置 c) CABIN火災発生時の処置	初期対応できる。コミュニケーションの取り方を学ぶ 初期対応できる。コミュニケーションの取り方を学ぶ 初期対応できる。コミュニケーションの取り方を学ぶ
2. 緊急対策 急減圧 a) 減圧の概要 b) 初期対応 c) 急減圧時のアナウンス	減圧時の機内の状況を理解する マスク着用、ベルト着用、YELL実施ができる 日本語、英語のアナウンスができる

4. 緊急着陸・着水前準備・緊急対策総合	
1. 緊急着陸前の機内準備 a) シートベルトの着用 b) 衝撃防止姿勢の説明と指導 c) 鋭利品の除去	確認項目を漏れなく実施する 確認項目を漏れなく実施する 確認項目を漏れなく実施する
2. 緊急着水前準備	緊急着水前にライフベスト着用の説明ができる
3. 緊急対策総合	予期されない緊急事態に対し初期対応ができる

5. グランドスタッフの仕事	
1. グランドスタッフの仕事	基本業務を理解できる
2. 専門用語	搭乗手続き続き、コントロール業務の特殊用語を理解できる
3. 時刻表	時刻表の活用方法が理解できる
4. 特別旅客	旅客に応じた対応ができる

学科	国際航空ビジネス科 エアラインコース		
教科	機内実習 (実務経験のある教員)	学年	2年
教科書			
参考書	エアラインオペレーション		

教 育 の 概 要	
教育目標	<p>客室乗務員が実際のフライトで遭遇する事例を学び、初期対応について実習する</p> <p>機内事例を簡潔にまとめ必要に応じた地上連絡方法を学ぶ</p> <p>グランドスタッフのイレギュラー対応を学ぶ</p> <p>客室乗務員との情報共有について学ぶ</p>
No	教 育 項 目
1	飲み物こぼし
2	ロビーに忘れ物をした旅客対応
3	泥酔旅客対応
4	水滴落下(天井からの水漏れ、エアコンの結露)
5	ミール内異物混入
6	機内設備で怪我をした旅客対応
7	旅客同士のトラブル発生
8	ダブルアサイン発生時の対応
9	急病人発生時のダイバート
10	アレルギーミール対応
11	総合演習

1. 飲み物こぼし	
教育内容	理解基準
飲み物こぼし	・初期対応できる(やけどの確認、衣服汚損時の対応)

2. ロビーに忘れ物をした旅客対応	
教育内容	理解基準
ロビーに忘れ物をした旅客対応	・初期対応できる(貴重品の有無、引き取り方法確認)

3. 泥酔旅客対応	
教育内容	理解基準
泥酔旅客対応	・初期対応できる(アルコールコントロール)

4. 水滴落下	
教育内容	理解基準
水滴落下	・初期対応できる(状況確認、適切な説明)

5. ミール内異物混入	
教育内容	理解基準
ミール内異物混入	・初期対応できる(事実関係把握、お詫び、今後の対応)

6. 機内設備で怪我をした旅客対応	
教育内容	理解基準
機内設備で怪我をした旅客対応	・初期対応できる(状況確認、救急処置、今後の対応)

7. 旅客同士のトラブル発生	
教育内容	理解基準
旅客同士のトラブル発生	・初期対応できる(冷静な対応、旅客対応、座席移動)

8. ダブルアサイン発生時	
教育内容	理解基準
ダブルアサイン発生時の対応	・初期対応できる(冷静な対応、旅客対応、座席移動)

9. 急病人発生時のダイバート	
教育内容	理解基準
ダブルアサイン発生時の対応	・初期対応できる(原因究明、地上確認、座席移動)

10. アレルギーミール対応	
教育内容	理解基準
アレルギーミール対応	・初期対応できる(救急看護、原因究明、レポート)

11. 総合演習	
教育内容	理解基準
総合演習	・初期対応できる(事例に応じた適切な処置)

学科	国際航空ビジネス科 エアラインコース		
教科	日本赤十字社 (実務経験のある教員)	学年	1年
教科書	日本赤十字社 救急法 教本		
参考書			
教 育 の 概 要			
教育目標	客室乗務員、グランドスタッフとして機内や空港内で遭遇する頻度の高い急病人に対して戸惑うこと無く積極的に人命救助に対して手を差し伸べる事ができる基礎と救急法を学ぶ。		
No	教 育 項 目		
1	救助に際して必要なこと		
2	一般救命処置		
3	応急手当(外傷)		
4	応急手当(その他)		
5	子供の手当 事故防止 水の事故)		

1. 救助に際して必要な事
<ul style="list-style-type: none"> 1. 救命の連鎖 2. 救助者が守るべきこと 3. 状況の観察・傷病者の観察 4. 傷病者の安静 5. 搬送

2. 一般救命処置
<ul style="list-style-type: none"> 1. 一般救命処置の手順 2. 心肺蘇生 3. AED 4. 気道異物除去 5. 医療機関へ引き継ぐまで
3. 応急手当(外傷)
<ul style="list-style-type: none"> 1. 動物にかまれた・蜂に刺された 2. 骨折 3. 肉離れ、アキレスケン 4. 多量の出血 5. 包帯 6. 火傷
4. 応急手当(その他)

- 1. 心臓発作
- 2. 脳卒中
- 3. 腹痛
- 4. 痙攣
- 5. 蕁麻疹
- 6. 脳虚血
- 7. 中毒
- 8. 熱中症

5. 子供の手当 事故防止 水の事故
<ul style="list-style-type: none"> 1. 誤飲事故 2. ひきつけ 3. 家の中・周囲 4. レジャー 5. 遊泳時の注意 溺れた人の救助 手当

学科	国際航空ビジネス科 エアラインコース		
教科	校外研修 (実務経験のある教員)	学年	1年
教科書			
参考書	適宜資料配布		
教 育 の 概 要			
教育目標	<p>空港施設、航空会社の職場を見学し、空港業務の流れや様々な職種に対する理解を深めます。 社会人として必要な、テーブルマナーの基礎習得を目標とします。</p>		
No	教 育 項 目		
1	空港研修		
2	テーブルマナー		
3			
4			
5			

1. 空港研修	
教育内容	理解基準
1 新千歳空港(1日間) a)空港施設の見学 b)航空会社の職場見学	空港内の各施設の見学を通して、空港職員の職務を説明でき 航空会社におけるオペレーション業務について説明できる
2. 羽田空港及び成田空港(3日間) a)航空会社訓練施設の見学 b)航空会社の整備場見学 c)空港施設と航空会社の職場見学	客室訓練施設の見学を通して、客室乗務員の職務を説明でき 航空整備士の職務について説明できる 空港内の各施設の見学を通して、空港職員の職務を説明でき

2. テーブルマナー	
1. テーブルマナー(半日) a)洋食コース料理のテーブルマナー	洋食器の取り扱いや食事のマナー、注意点を踏まえ実践でき

